

## 公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年 月 日

団体名 應呼 藤六連

代表者 川島 秀俊

構成員 30 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

地域の祭りに参加する為、和太鼓の技術と修得し披露する事により、コミュニケーションを計り、地域で顔の見える人間関係を作る

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。  
 なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

## ■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
R6年 4月21日	福岡町地内	祭りを見に来た 一般見物者	10 人	修得した伝統文化(和太鼓)を披露し、共に神樂を担ぐことにより、コミュニケーションを計った
R6年 7月2日、3日	上地町地内	週辺住民	30 人	町内に広く祭りの開催を知らせ、共に神樂を担ぎ、コミュニケーションを計った
R6年 4月中旬	上地人橋裏	来場者	8人	桜の花見に来た人たちの為に、駐車場係のお手伝いをした

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。&lt;ex.自然環境&gt;

## ■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

地域に根ざした和太鼓と担ぎの活動は祭り当日だけでなく、ととろろ”日々の練習やメンバー募集活動を通して年間を通じて町内でのコミュニケーションを円滑にしている

## ■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 (4) 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

地域の文化的伝統を守り、伝えることにより、地域で顔の見えるコミュニケーションを計ることができた。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。